

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (新規)

| | | | | | | | |
|----------|-------------------|---|---------|--|----------------------------------|-----------------|--|
| 提出区分 | 新規 | 整理番号 | 9 | 課題区分 | C | 令和8年(2026年)4月1日 | |
| 横断的な課題 | 2地域を支える産業のグレードアップ | | | | | 上田地域振興局 | |
| 地域重点政策 | 2地域を支える産業のグレードアップ | | | | | | |
| 実施機関 | 上田地域振興局 | | | 担当課 | 所属 | 商工観光課 | |
| 事業名 | 上田地域ワイン振興事業 | | | | 電話 | 0268-25-7140 | |
| | | | | E-mail | uedachi-shokan@pref.nagano.lg.jp | | |
| 事業の概要等 | 目的 (目指す姿) | NAGANO WINEの振興及び信州ワインバレー構想2.0の推進を図るため、上田地域のワインの認知度を向上させるとともに、地域内外での消費量の増大とワインを基軸とした観光地域づくりを推進する。 | | | | | |
| | 現状と課題 | 千曲川ワインバレーにおけるワイナリー・グロワー(委託醸造を行う生産者)の最大の集積地である上田地域では、その数が年々増加し続けており、多種多様なワインが生産されている(ワイナリー・サイダリー数 12場(R1.12)⇒21場(R8.1)、グロワーも少なくとも20名程度が所在)が、その大多数は生産規模がごく小規模な生産者である。一部にファンを獲得しつつある生産者がある一方で、産地全体としての認知度はワインラヴァーへは高まる一方、一般の方へは限定的である。また、ワインを目的にこの地を訪れた観光客等がワインを飲める場所が限られ、あつたとしても、地元の住民がワインを愛飲しない等、ワイン振興に「ハリボテ」のような部分がある。この課題を解決していくため、BtoB商談会による販売者・提供者の増加とその出口となるBtoCイベントによる「飲み手」の拡大が不可欠である。 | | | | | |
| | 内容 (変更後の内容) | ①BtoBバスツアーの開催(上田市・東御市のバスによる) ②BtoB商談会の開催(推進費により会場・資材を借上げ。ワインは生産者負担) ③BtoCのPRイベントの開催(推進費により会場・資材の一部を借上げ。ワインは生産者が一部協賛) | | | | | |
| 事業期間 | 令和8年(2025年)4月 | | | ～ | 令和9年(2026年)3月 | | |
| 事業費等 | (単位:円) | | | | | | |
| | 事業を構成する細事業名等 | 実施内容 | 計画(実績)額 | 備考 | | | |
| | 販路拡大事業 | 上田地域のワイナリー/サイダリー及びグロワーの販路を獲得するためのイベント開催(上田市・東御市とタイアップして実施) ①BtoBバスツアー ②BtoB商談会 ③BtoCワインPRイベント | 250,000 | 需用費:消耗品・試飲用ワイン購入費(一式)30千円 使用料:会場使用料(局負担分)・印刷代一式 220千円 | | | |
| | 合計 | | 250,000 | | | | |
| 指標及び達成状況 | 成果指標 | | 目標値 | 成果 | 達成状況 | | |
| | 商談会へのバイヤーの参加 | | 60名 | | ● 達成 | | |
| | PRイベントへの一般消費者の参加 | | 100名 | | ● 一部達成 | | |
| | | | | | ● 未達成 | | |
| 事業実績・成果 | | | | | | | |
| 今後の方向性 | | | | | | | |